

授業科目名 (英訳)	日本政治行政論 Japanese Politics and Public Administration				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 非常勤講師・松並 潤					
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 後期	曜時限	金/4・5 (隔週)	授業形態	講義	使用言語	
〔授業の概要・目的〕											
日本の政治行政について、英語でどう語られているか、官僚制・政党政治などいくつかのトピックを取り上げて講義する。また、それぞれの議論がどう関係しているのか、その背景を明らかにする。講義で取り上げた文献について、英語でプレゼンテーションを行いさらにそれに対する質疑応答を繰り返すことにより、これらのトピックについて英語で討論できるようにする。											
〔到達目標〕											
日本の政治行政について、アカデミックな議論がどう行われてきたかを理解し、それらを踏まえて英語で議論できるようにする。											
〔授業計画と内容〕											
第2回以降、講義は2回をペアにして行う。偶数回は講義形式で行い、それに続く奇数回はプレゼンテーションとそれに対する質疑応答を行う。											
【第1回】 イントロダクション											
【第2～3回】 Showa (1926-1989)											
【第4～5回】 Postwar Reform											
【第6～7回】 Bureaucracy											
【第8～9回】 Liberal Democratic Party											
【第10～11回】 Local Government											
【第12～13回】 “Lost Ten Years” and Koizumi Politics											
【第14～15回】 Gender Politics in Japan											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
最終講義後に求めるレポート（50%）および講義中のプレゼンテーション（50%）により評価する。 過去の議論を咀嚼し、それらを発展させる形で議論できるか否かが、成績評価では重視される。											
〔教科書〕											
印刷資料を配付する。											
〔参考書等〕											
随時必要に応じて文献を紹介する。											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
アサインメイトとして配布した資料を事前に読み込むこと。											
〔その他（オフィスアワー等）〕											
松並 潤 matsunam@kobe-u.ac.jp											